

Style シリーズ

Style for ME

XML 変換ソフト

マニュアル 第1版

株式会社中央情報システムズ

変更履歴

日付	内容	備考
2008/03/19	第1版作成	
2009/05/22	動作環境の補足事項を追加	
2009/05/22	インストール時の補足事項を追加	

## 目次

1. 概要 .....	4
(1)概要 .....	4
(2)環境 .....	4
2. インストール/アンインストール .....	5
(1)インストール .....	5
(2)アンインストール .....	7
3. 起動 .....	8
(1)画面の起動 .....	8
(2)XML 作成画面 .....	8
(3)変換設定画面 .....	10
4. XML 作成 .....	12
(1)ファイルの圧縮形式選択 .....	12
(2)設定定義選択 .....	12
(3)CSV 格納先 .....	13
(4)XML 出力先 .....	13
(5)コンソール表示 .....	14
(6)CSV チェック .....	14
(7)XML 作成 .....	17
5. 設定 .....	21
(1)設定定義の保存/読込/削除 .....	21
(2)CSV 列設定 .....	24
(3)規定値設定 .....	25
6. 他アプリケーションからの起動 .....	26
(1)起動方法 .....	26
(2)処理結果の取得方法 .....	29
(3)サンプルソース .....	30
7. CSVチェック:エラーログ .....	33
(1)ログ内容 .....	33
(2)チェックの種類 .....	33
8. 正規版、デモ版について .....	35
(1)デモ版について .....	35
(2)正規版について .....	36

# Style for ME (XML 変換)

## 1. 概要

### (1)概要

- ・本ソフトウェアは、CSV データを入力に電子的標準仕様の XML に変換を行います。

### (2)環境

- ・OS(日本語版): Windows 2000、Windows XP(Professional SP2)、Windows Vista(Business)にて動作確認を行っております。
- ・ネットワークに接続されている必要があります。

## 2. インストール/アンインストール

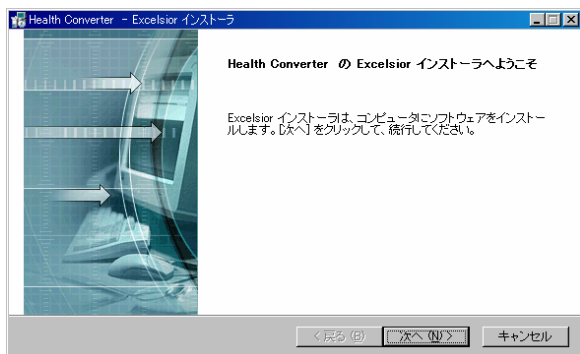
※インストール時のユーザは、コンピュータの管理者で行ってください。

### (1)インストール

①配布 CD または、ダウンロードした下記のファイルをダブルクリックします。

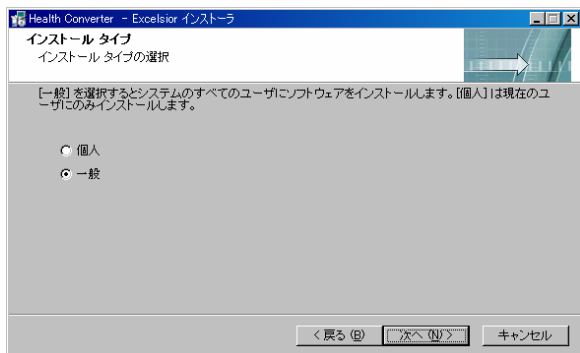


②『インストール初期画面』が表示されたら『次へ』ボタンを押下します。

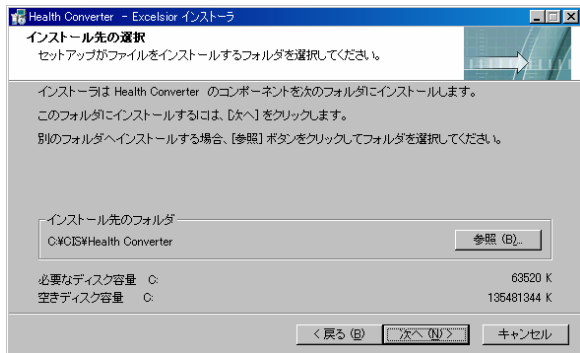


③『インストール選択画面』が表示されたら『一般』・『個人』を選択し、『次へ』ボタンを押下します。

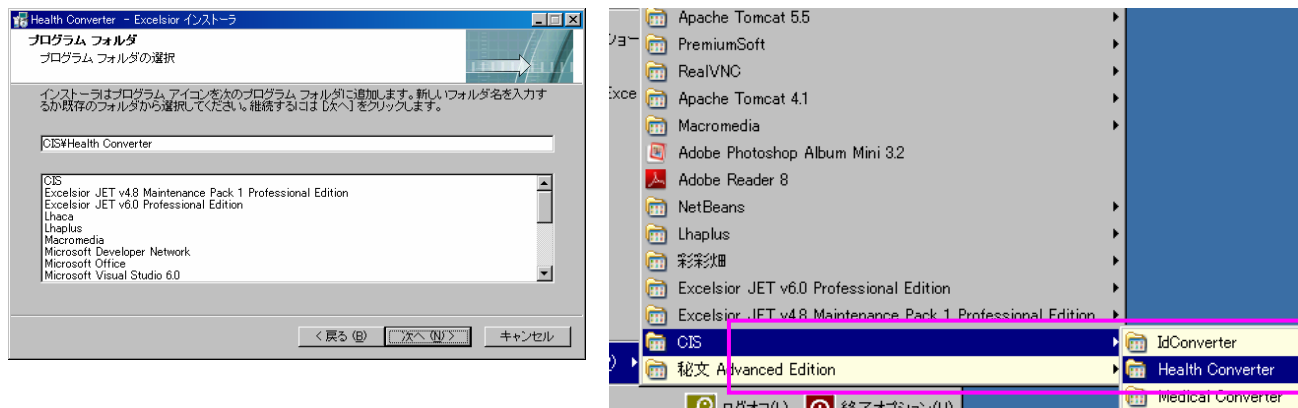
※端末を使用する際、複数ユーザで使用される方は、『一般』をお勧めします。



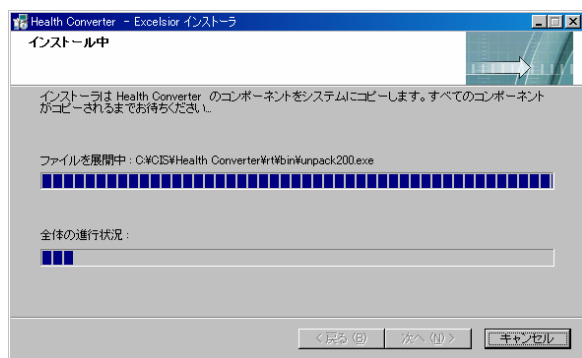
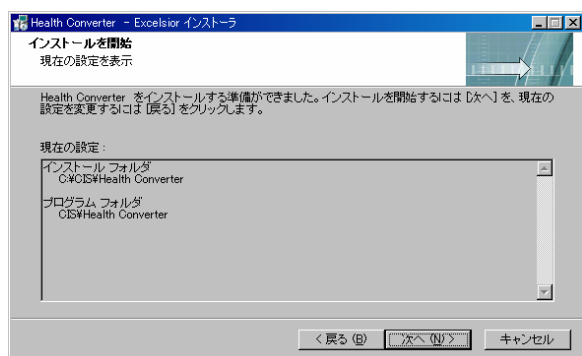
④『インストール先の選択画面』が表示されたらインストール先のフォルダを選択し『次へ』ボタンを押下します。



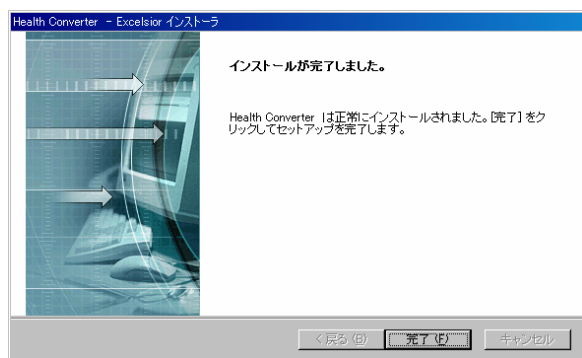
⑤『プログラム フォルダ画面』が表示されたらフォルダ名を決定し『次へ』ボタンを押下します。



⑥『インストール確認画面』が表示されたら内容を確認し『次へ』ボタンを押下します。インストールが開始されます。

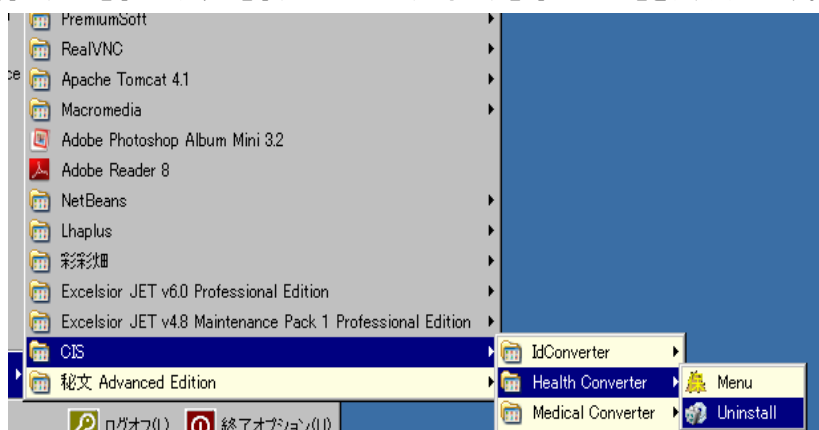


⑦『インストール完了画面』が表示されたら『完了』ボタンを押下します。

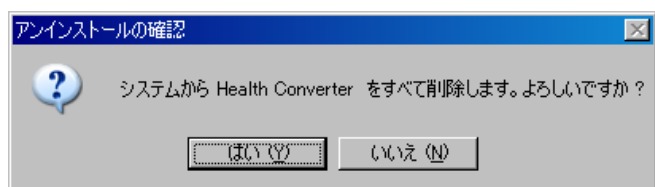


## (2)アンインストール

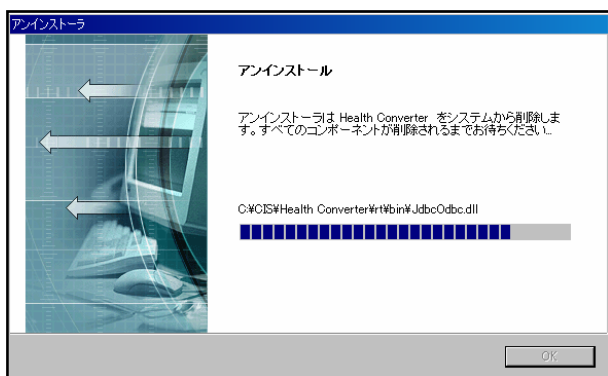
①『スタート』『プログラム』『(インストール)フォルダ』『Uninstall』をクリックします。



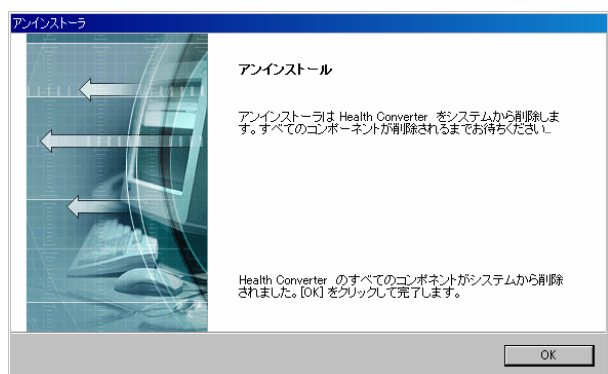
②『アンインストール確認画面』が表示されたら『はい(Y)』を選択します。



③『アンインストール中画面』が表示されます。



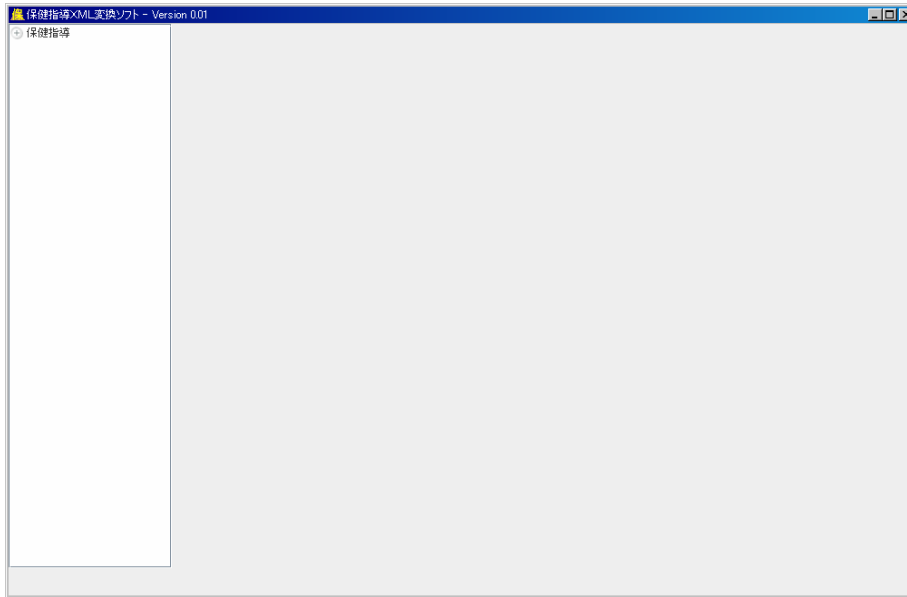
④『アンインストール完了画面』が表示されたら『OK』ボタンを押下します。



## 3. 起動

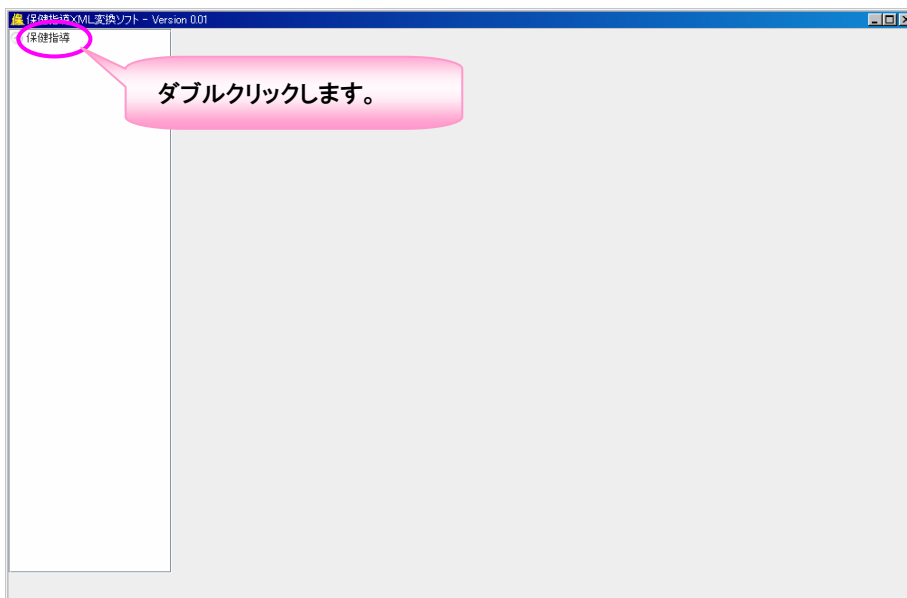
### (1)画面の起動

- ・『スタート』-『プログラム』-『(インストールフォルダ)』-『Menu』を選択します。



### (2)XML 作成画面

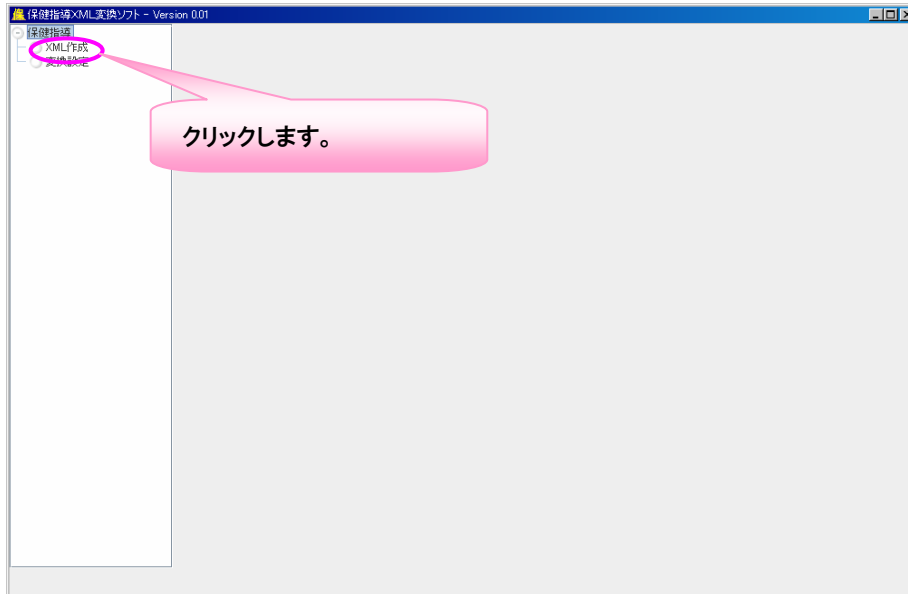
- ・『健康指導』をダブルクリックします。



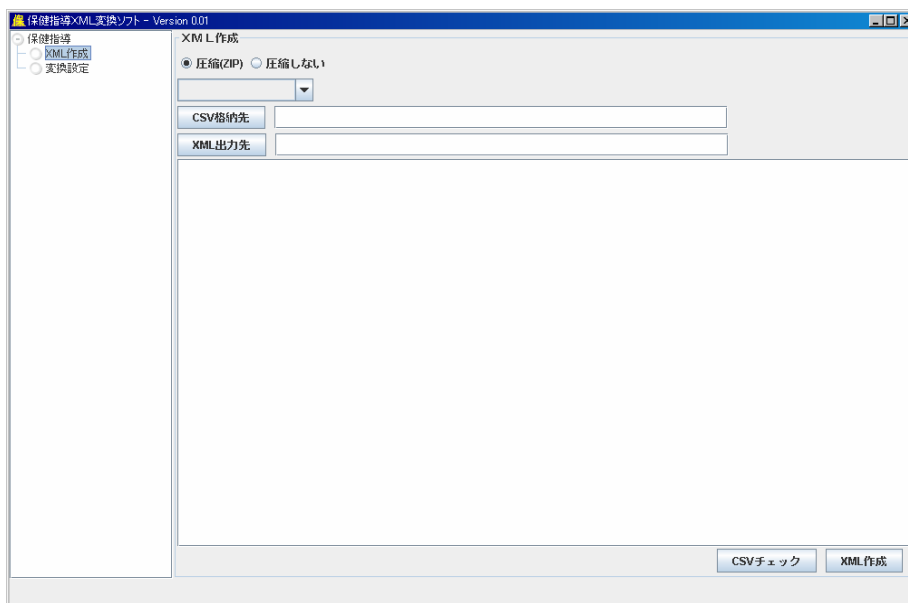


## Style for ME(XML 変換)

- ・『XML 作成』をクリックします。

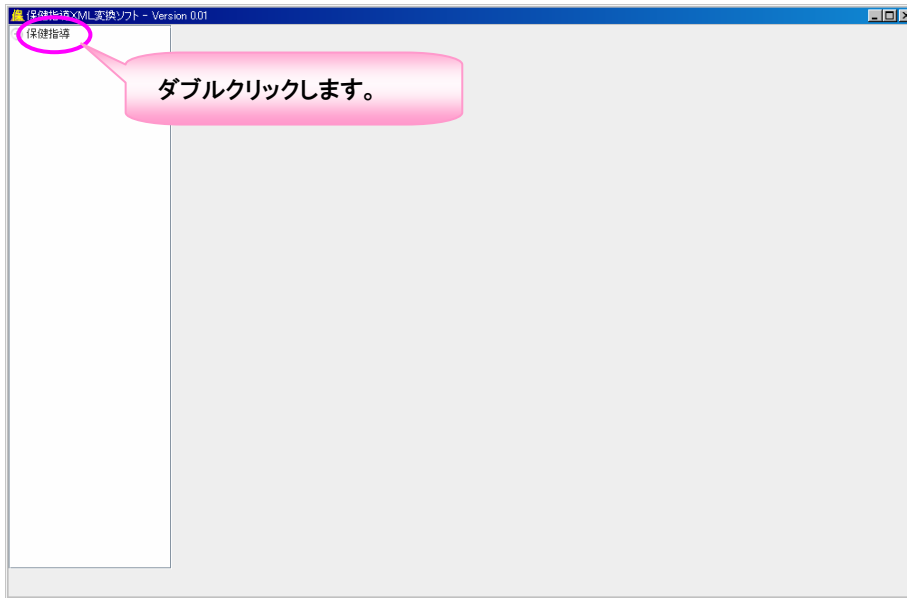


- ・『XML 作成』をクリックすると作成画面が表示されます。

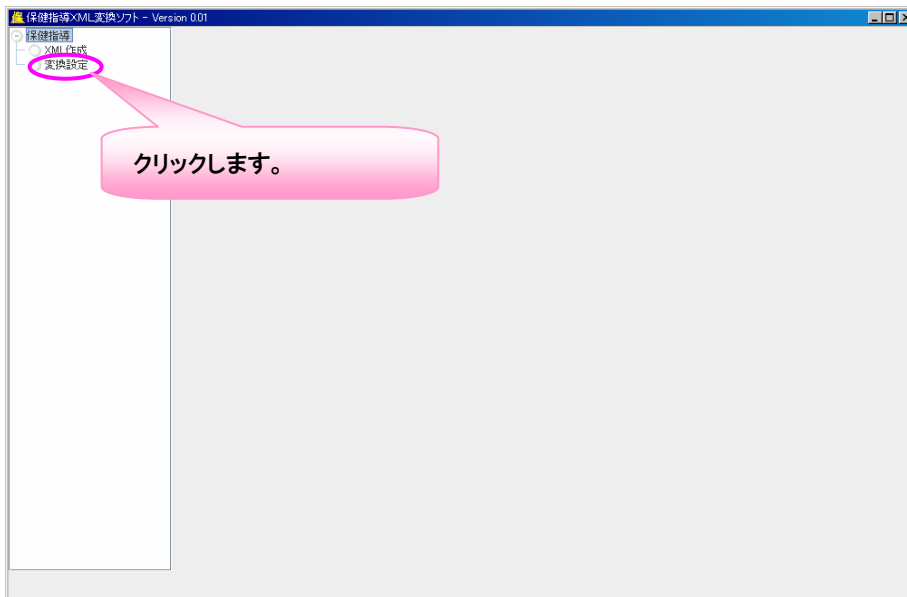


## (3)変換設定画面

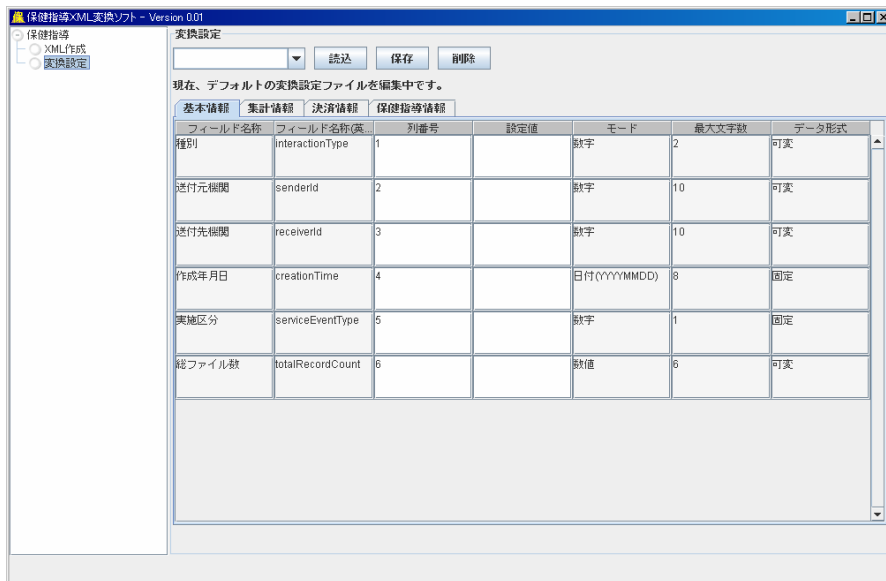
- ・『保健指導』をダブルクリックします。



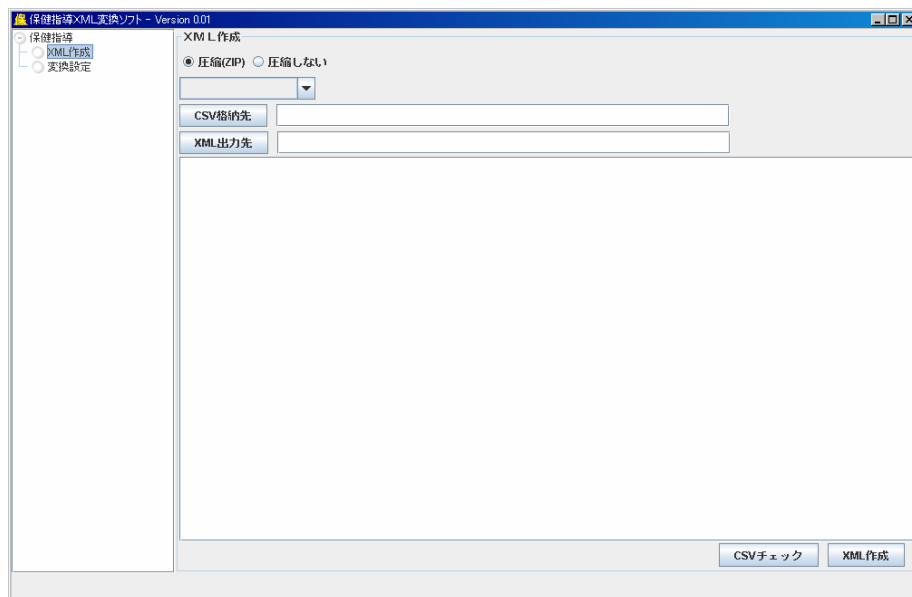
- ・『変換設定』をクリックします。



- ・『変換設定』をクリックすると設定画面が表示されます。

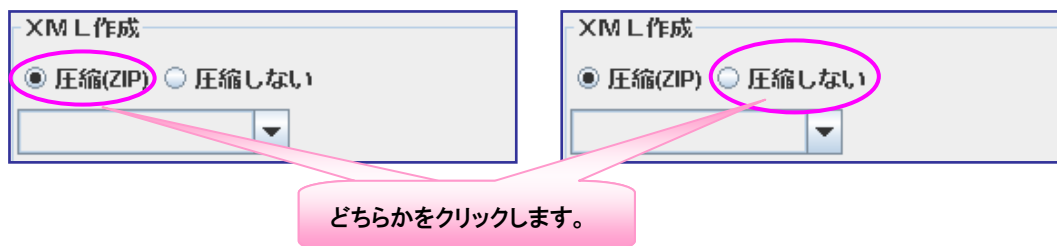


## 4. XML 作成



### (1) ファイルの圧縮形式選択

・ラジオボタン押下により圧縮形式を選択します。

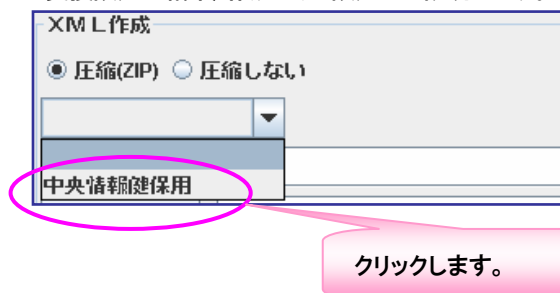


### (2) 設定定義選択

・コンボボックスより変換設定名称を選択します。

※空白はデフォルト設定です。

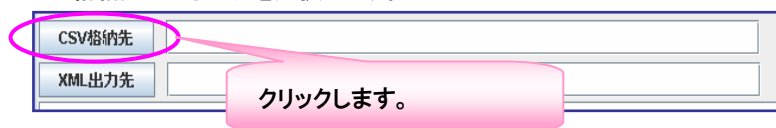
※変換設定の編集/作成は、5.設定にて説明します。



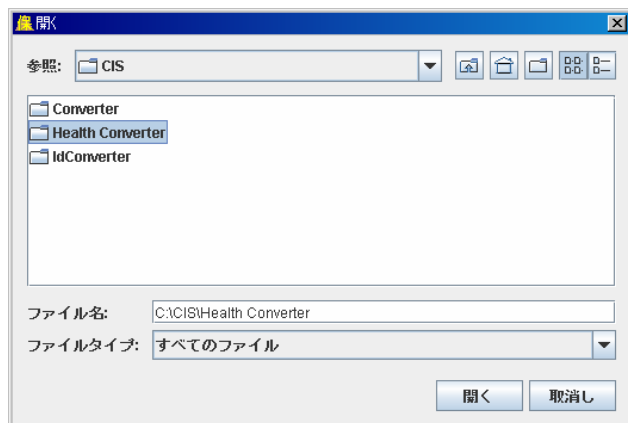
## Style for ME(XML 変換)

### (3)CSV 格納先

- ・CSV 格納先のフォルダを選択します。

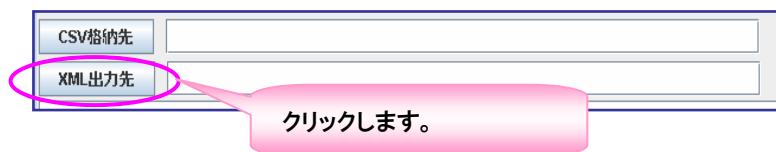


- ・上記より下記画面が表示されるので、CSV が格納されているフォルダを選択します。



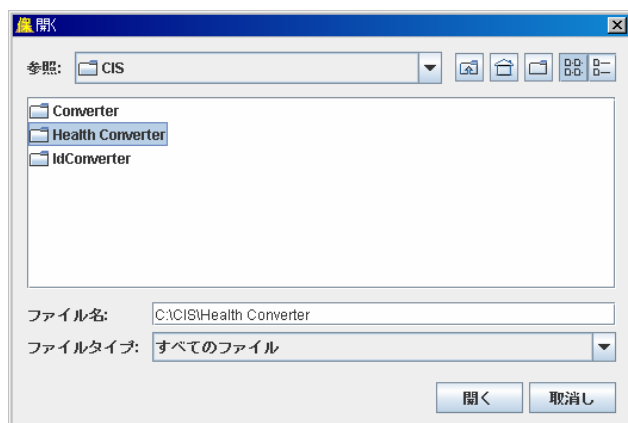
### (4)XML 出力先

- ・XML 出力先を選択します。



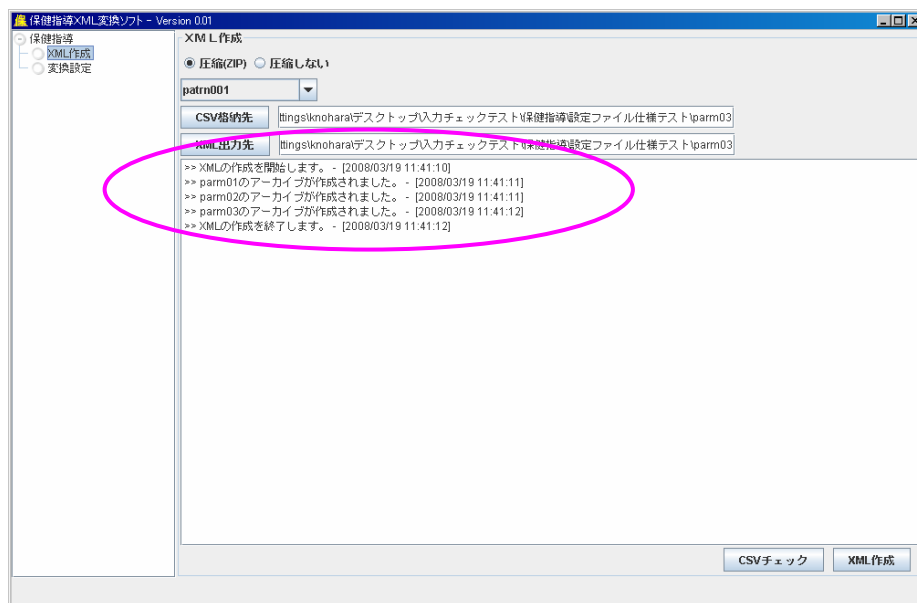
- ・上記より下記画面が表示されるので、XML ファイルを出力するフォルダを選択します。

※新規フォルダの指定も可能です。



## (5)コンソール表示

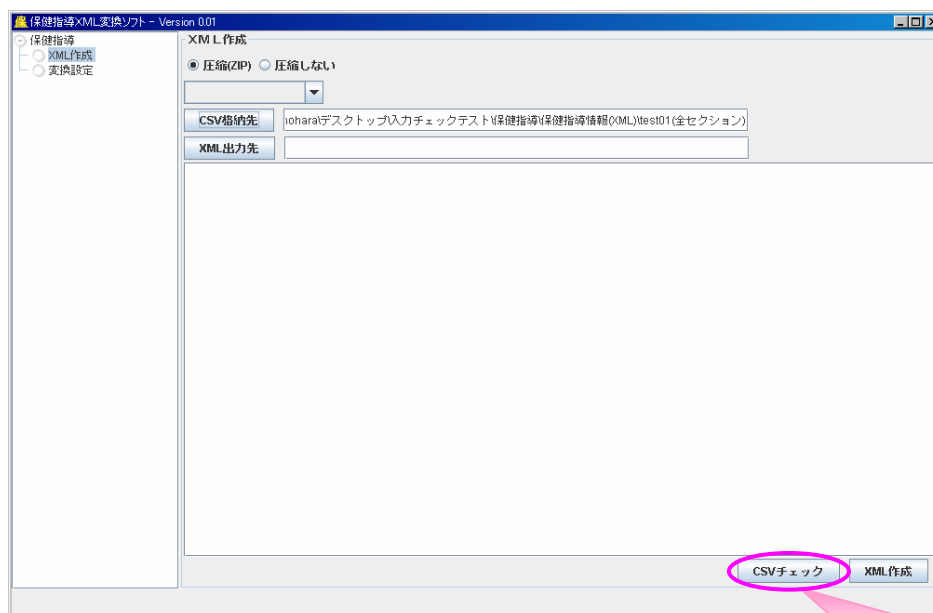
・現在の処理経過を順次表示します。



## (6)CSV チェック

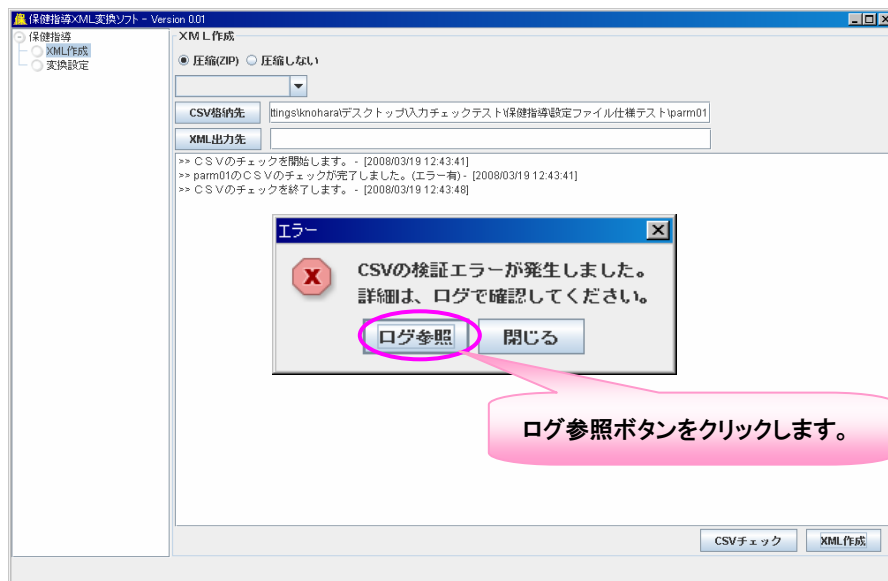
・CSV ファイルを読み込み、入力チェックを行ないます。

①CSV ファイルを格納しているフォルダを選択し、「CSV チェックボタン」を押下します。



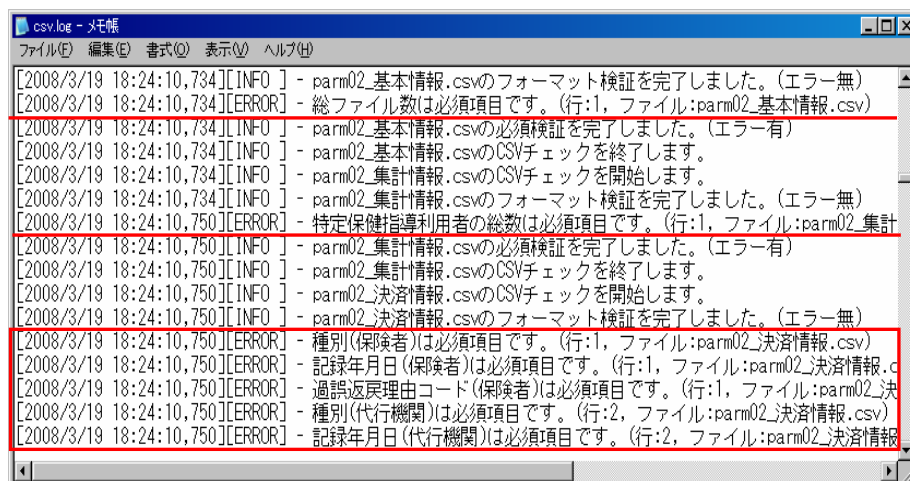
CSV チェックボタンをクリックします。

## ②CSV ファイルのデータ値に誤りがある場合、エラーメッセージ画面が出力されます。

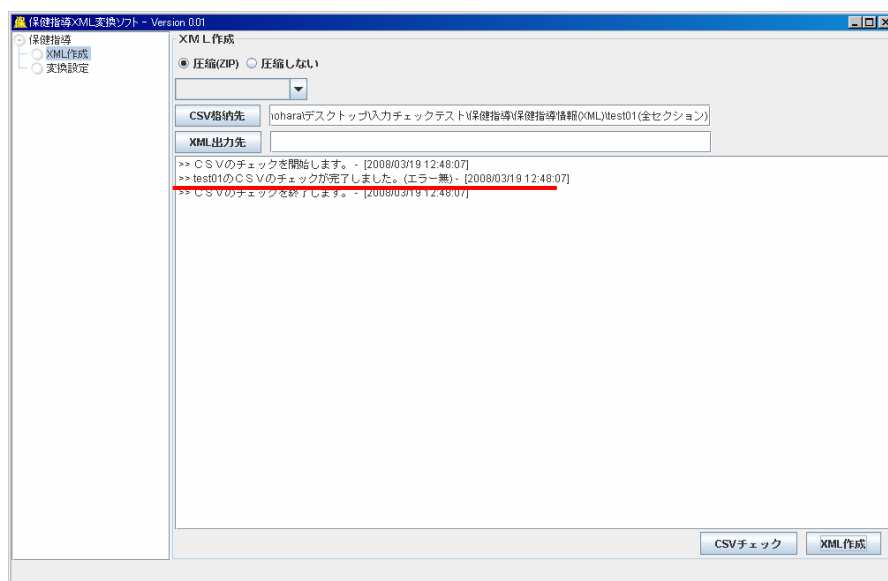


## ④ログ参照ボタンを押下し、エラー内容を示したログを確認します。

- このエラー内容を元に CSV ファイルのデータ値の修正を行なってください。



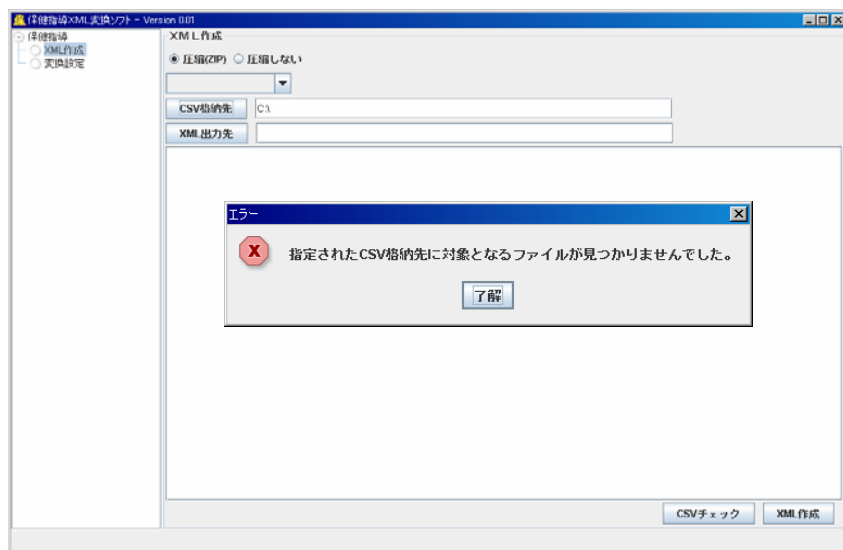
## ⑤エラーが無く正常に処理終了すると、コンソールに【CSV チェックが完了しました。(エラー無)】と表示されます。



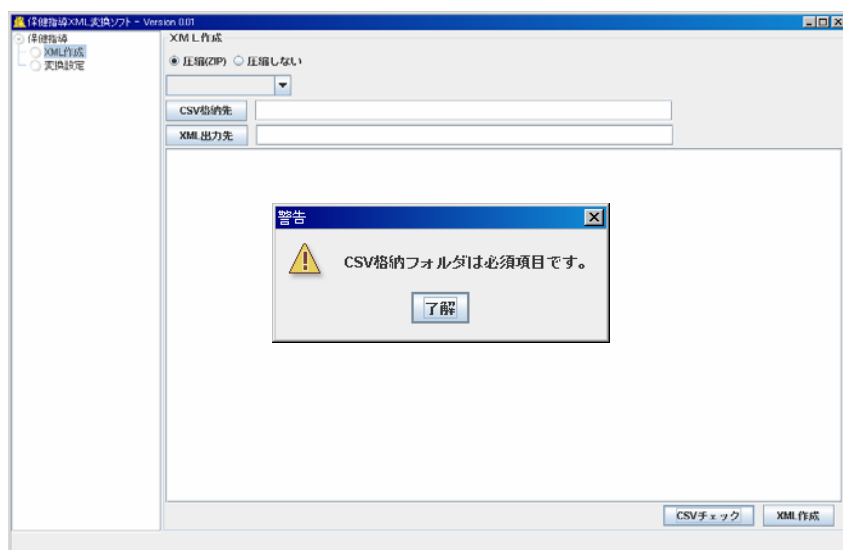
## Style for ME(XML 変換)

・CSV ファイルが格納されていない場合、エラーメッセージ画面が出力されます。

ファイルが格納されている CSV 格納先フォルダを指定し、CSV チェックボタンを再度押下してください。



・格納先が未選択の場合、警告画面が出力されます。

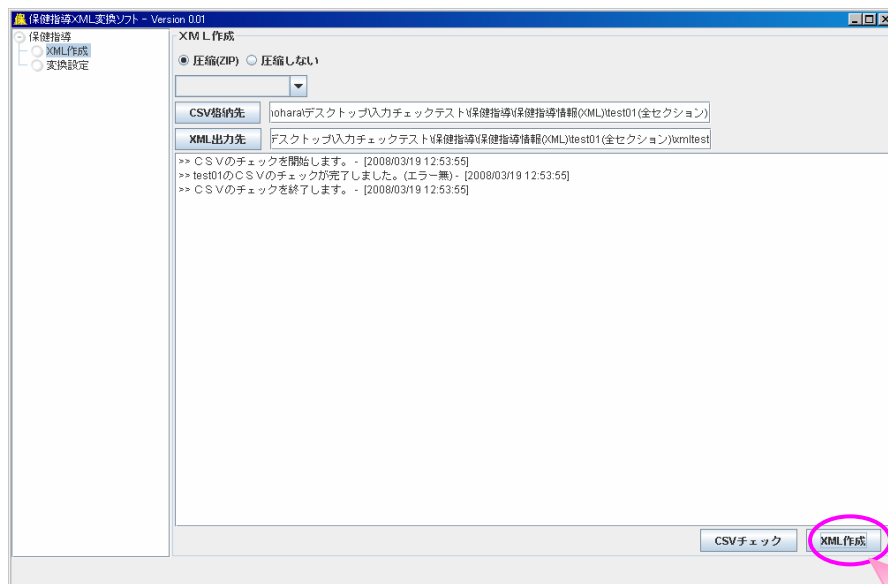




## (7)XML 作成

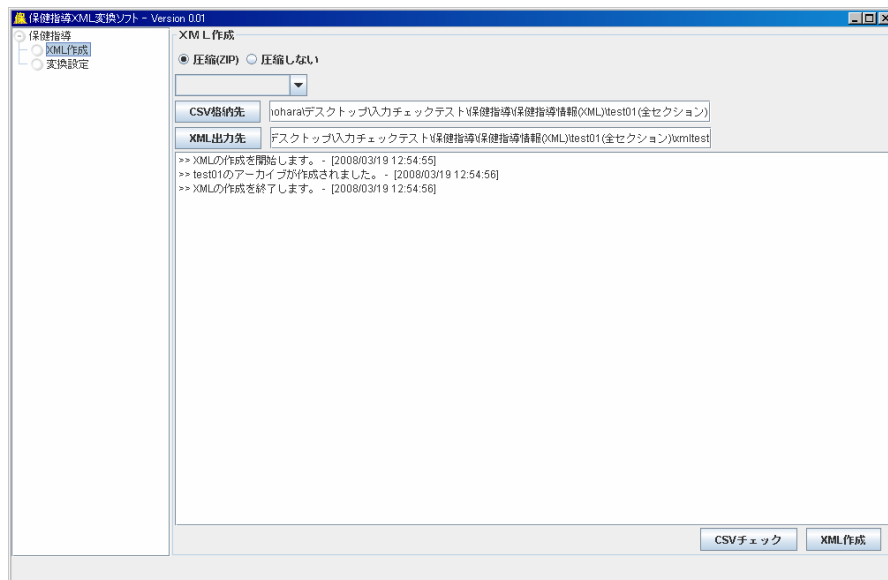
・画面で指定された CSV 格納先より、データを取得し、XML 出力先へ、変換後のデータを出力します。

①CSV 格納先、XML 出力先を指定し、XML 作成ボタンを押下します。



XML作成ボタンをクリックします。

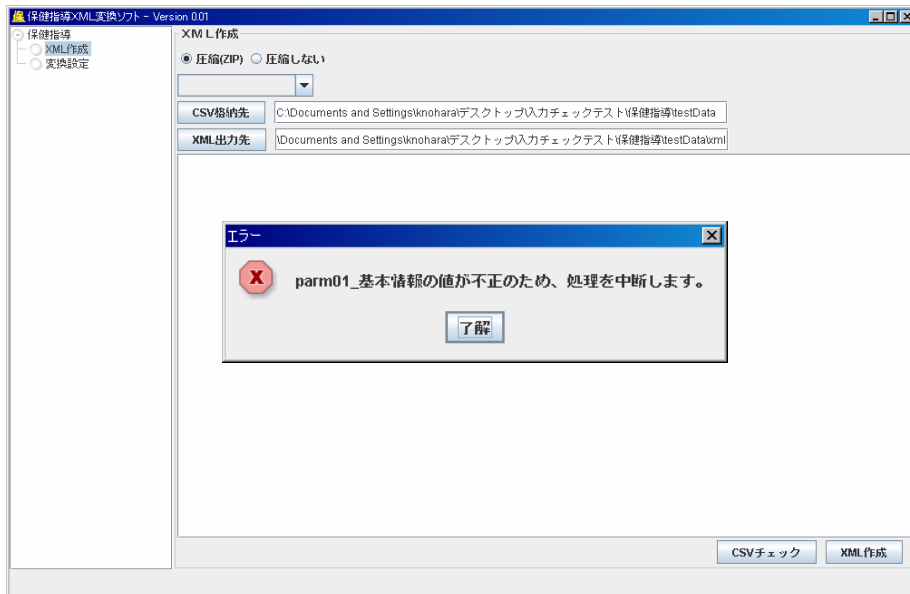
②「アーカイブが作成されました」とコンソールに出力されると、指定したフォルダに XML ファイルが格納されています。



・入カミスのある CSV ファイルで直接 XML 作成を行なうと、エラー画面が出力されます。

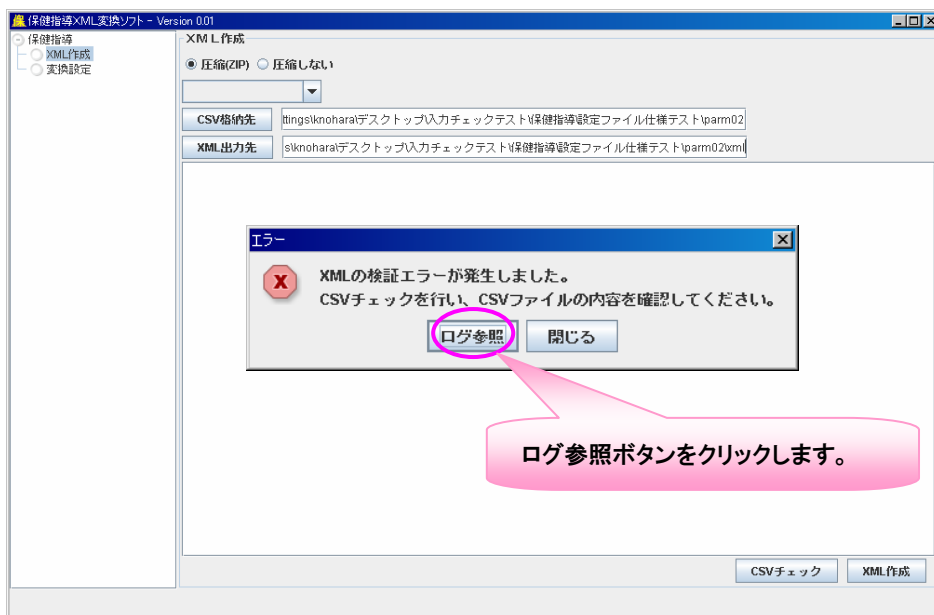
### ①基本情報ファイルのデータ値に誤りがある場合

CSV チェックを行い、データ値を正しく修正してください。



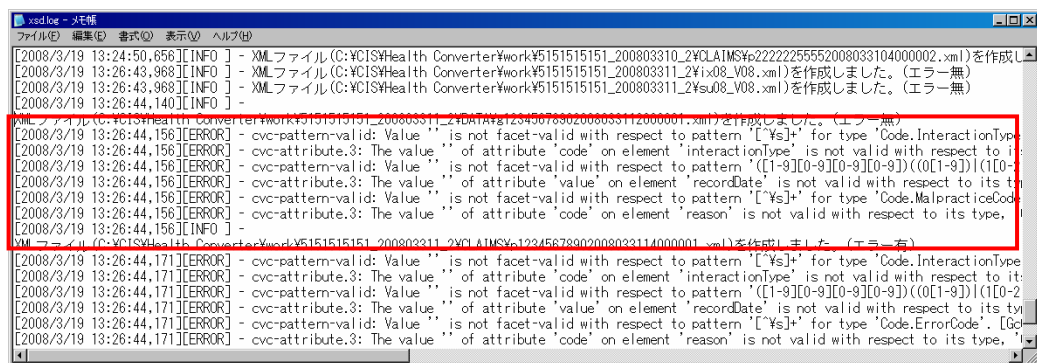
### ②基本情報ファイル以外のデータ値に誤りがある場合

・CSV チェックを行い、データ値を正しく修正してください。

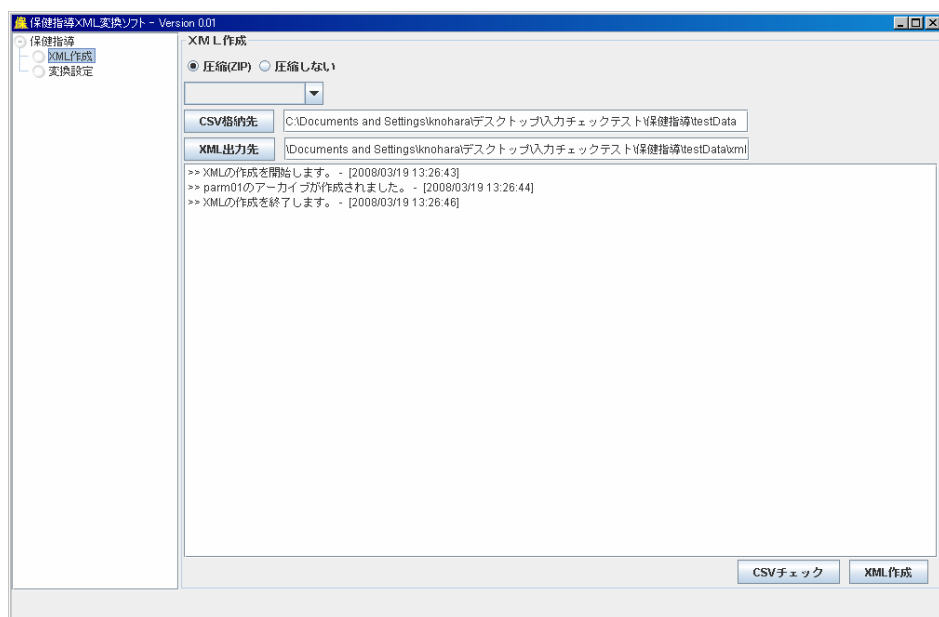


## ③ログ参照ボタンを押下しログの確認をします。

・スキーマエラーのログが出力されます。CSV チェックを行い、CSV ファイルの修正を行なってください。

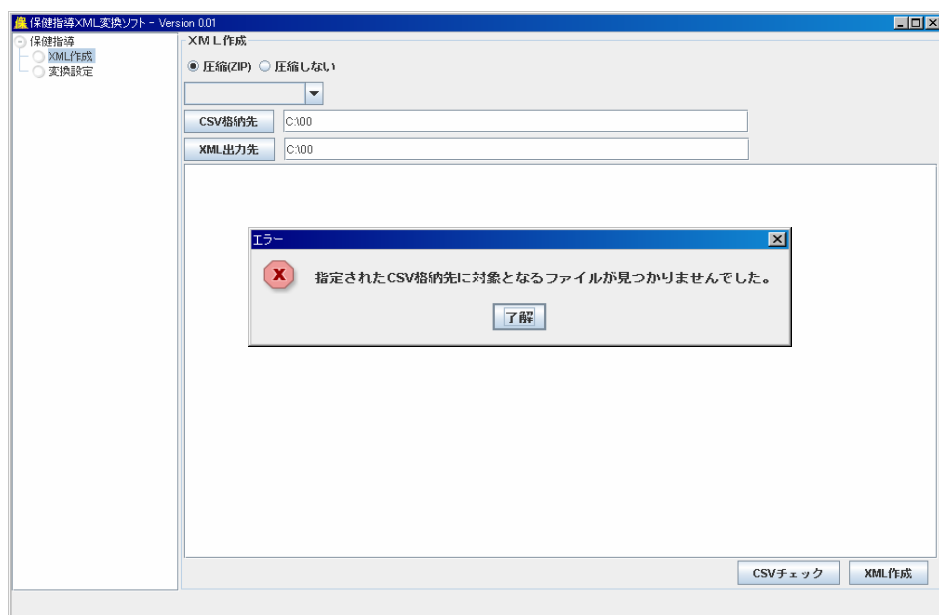


## ④エラーが無く正常に処理終了すると、コンソールに【[ファイル名]のアーカイブが作成されました。】と表示されます。

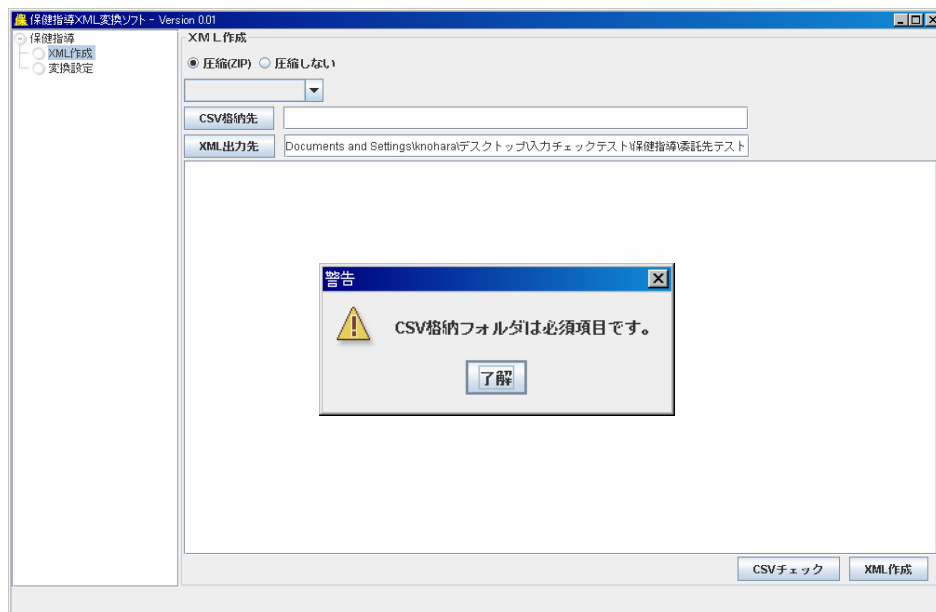


・CSV 格納先に CSV ファイルが無い場合、エラー画面が出力されます。

CSV ファイルがあるフォルダを指定し、再度 XML 作成ボタンを押下してください。

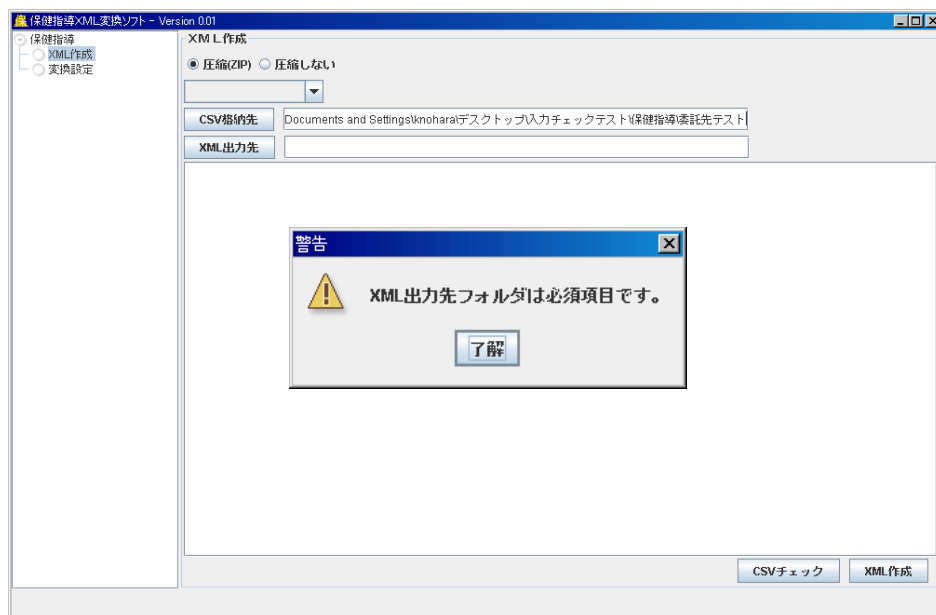


- CSV 格納先にフォルダが指定されていない場合、警告画面が出力されます。

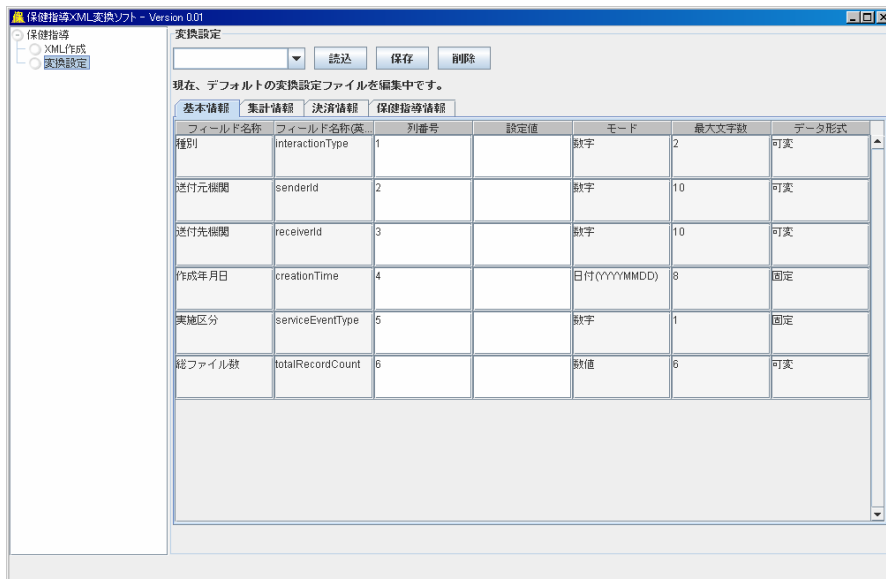


- XML 出力先にフォルダが指定されていない場合、警告画面が出力されます。

XML 出力先を選択してください。



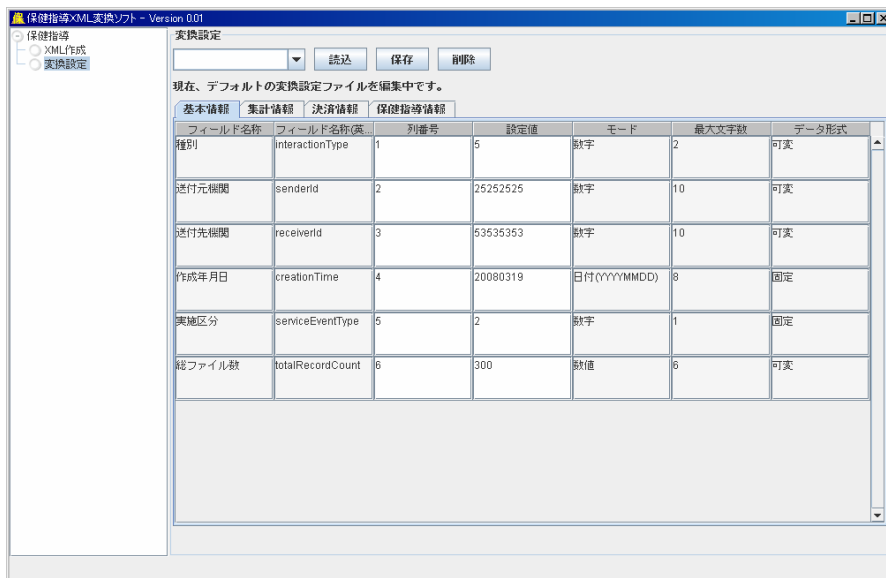
## 5. 設定



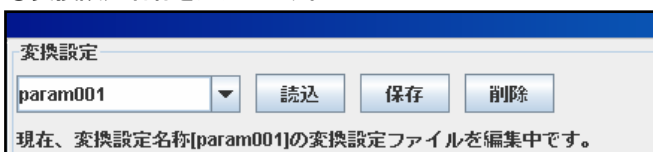
### (1) 設定定義の保存/読込/削除

#### 1) 保存

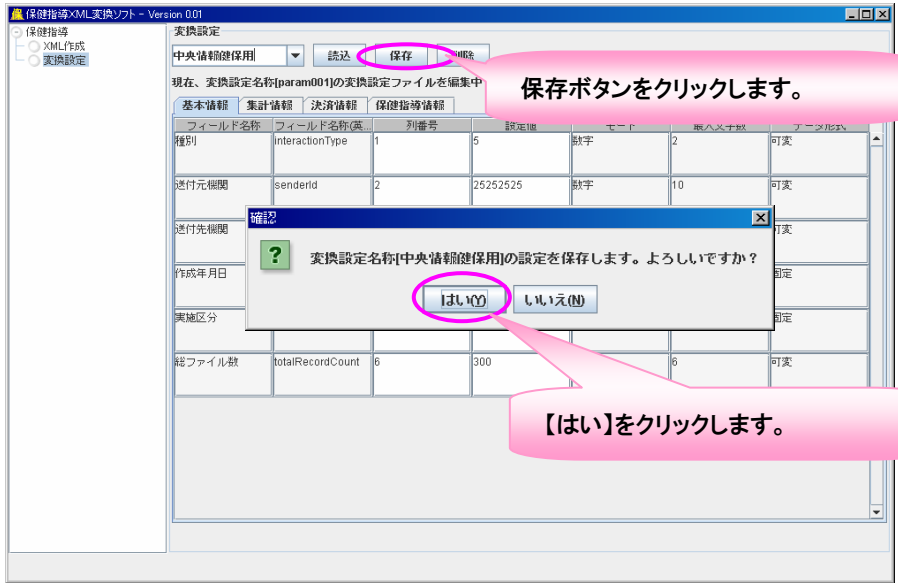
① 基本情報・集計情報・決済情報・保健指導情報それぞれに、必要なデータを入力します。



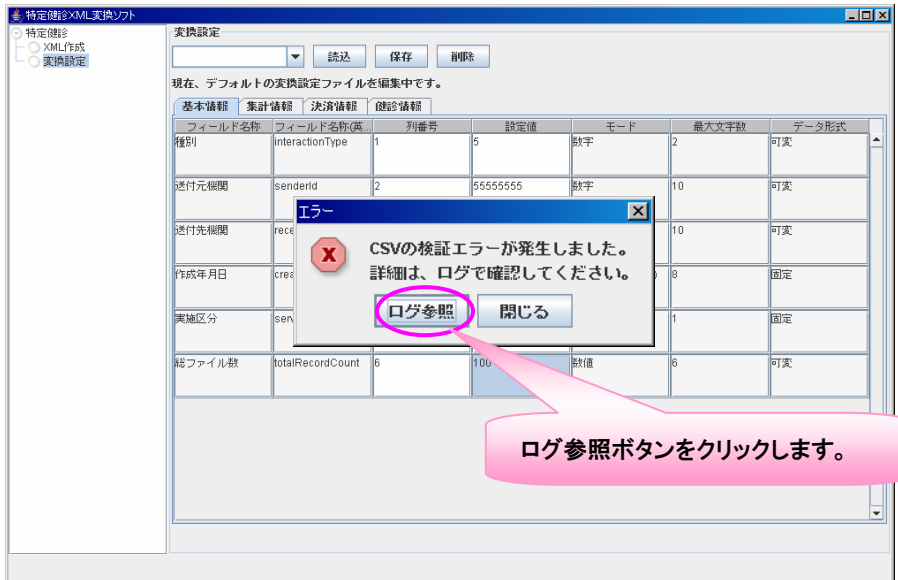
② 変換設定名称を入力します。



③『保存』ボタンを押下すると、保存確認がされ、画面情報が保存されます。

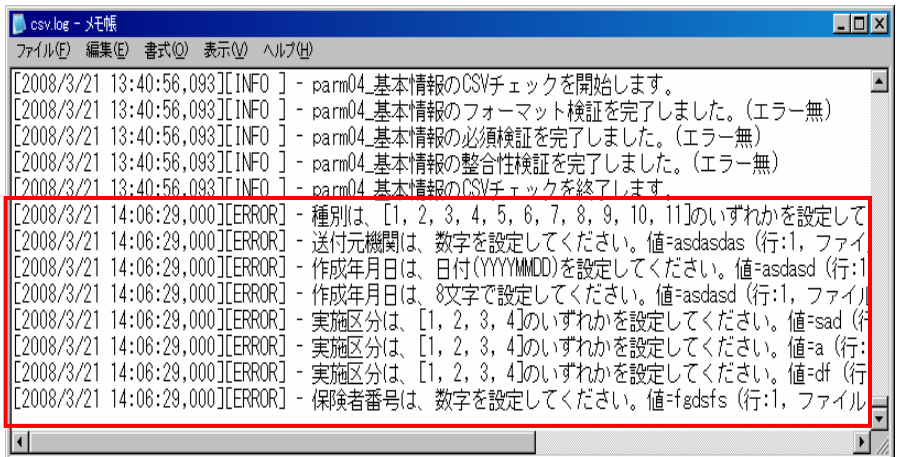


④【はい】を押下すると、設定値に誤りがある場合、エラー画面が出力されます。



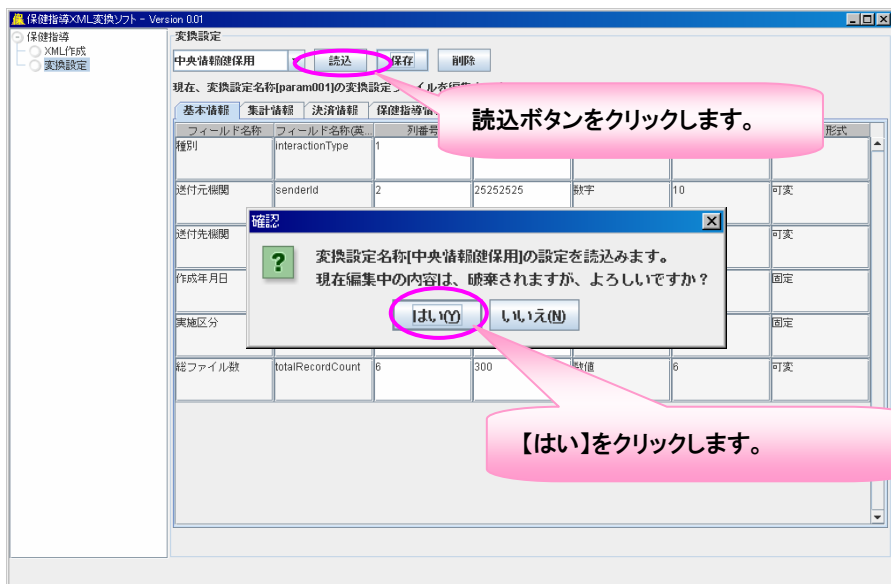
⑤ログ参照ボタンを押下し、エラー内容を示したログを確認します。

このエラー内容を元に設定画面の修正を行ない保存してください。



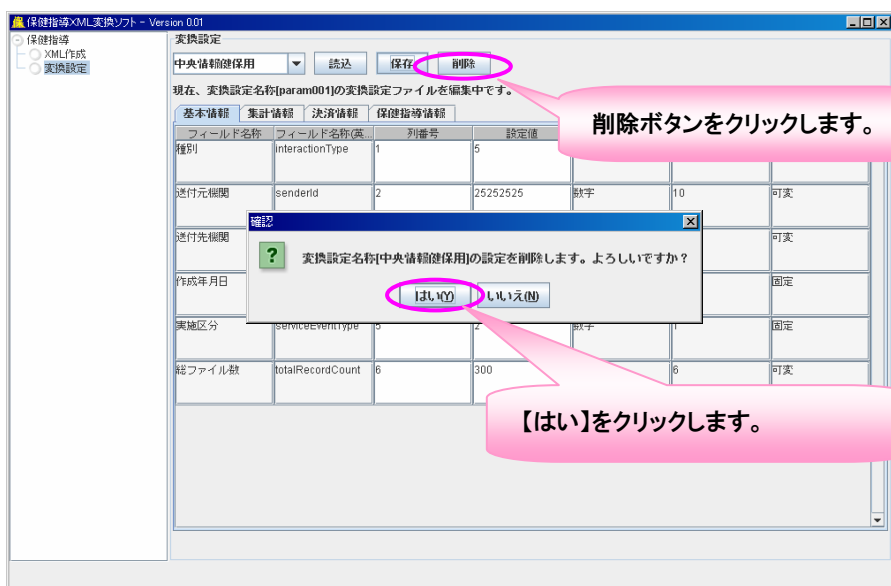
## 2) 読込

- ・保存されている設定情報を選択します。
- ・『読込』ボタンを押下することで画面に展開されます。



## 3) 削除

- ・保存されている設定情報を選択します。
- ・『削除』ボタンを押下することで保存されている設定情報が削除されます。



# Style for ME(XML 変換)

## (2)CSV 列設定

基本情報	集計情報	決済情報	保健指導情報
フィールド名称	フィールド名称(英...	列番号	

- ・『基本情報』『集計情報』『決済情報』『保健指導情報』のいずれかのタブを選択します。
- ・CSV 必要項目が表示されますので列を指定します。

### 例1) 基本情報 CSV

種別	送付元機関	送付先機関	作成年月日	実施区分	総ファイル数
1列目	2列目	3列目	4列目	5列目	6列目

基本情報	集計情報	決済情報	保健指導情報
フィールド名称	フィールド名称(英...	列番号	
種別	interactionType		
送付元機関	senderId	2	
送付先機関	receiverId	3	
作成年月日	creationTime	4	
実施区分	serviceEventType	5	
総ファイル数	totalRecordCount	6	

### 例2) 基本情報 CSV

送付先機関	送付元機関	種別	総ファイル数	実施区分	作成年月日
1列目	2列目	3列目	4列目	5列目	6列目

基本情報	集計情報	決済情報	保健指導情報
フィールド名称	フィールド名称(英...	列番号	
種別	interactionType	3	
送付元機関	senderId	2	
送付先機関	receiverId	1	
作成年月日	creationTime	6	
実施区分	serviceEventType	5	
総ファイル数	totalRecordCount	4	



## (3)規定値設定

- ・『基本情報』『集計情報』『決済情報』『保健指導情報』のいずれかのタブを選択します。
- ・CSV 必要項目が表示されますので規定値を指定します。

例) 基本情報 CSV

送付元機関	送付先機関	作成年月日	総ファイル数
1列目	2列目	3列目	4列目

基本情報	集計情報	決済情報	保健指導情報
フィールド名称	フィールド名称(英...	列番号	設定値
種別	interactionType		1
送付元機関	senderId	1	
送付先機関	receiverId	2	
作成年月日	creationTime	3	
実施区分	serviceEventType		5
総ファイル数	totalRecordCount	4	

CSV に項目が無いので規定値を設定

## 6. 他アプリケーションからの起動

### (1) 起動方法

・以下のようにパラメータを設定して、boot.exe を起動します。

C:\CIS\Health Converter>boot.exe "機能ID" "任意文字列" "変換パラメータ" "CSV 格納フォルダ" "XML 出力フォルダ" "圧縮形式" "起動時間"

### — XML 作成の形式 —

順序	引数名	必須	内容
1	機能ID	○	BH0010102(固定)
2	任意文字列	○	(※1 参照)
3	変換パラメータ		(※2 参照)
4	CSV 格納フォルダ	○	
5	XML 出力フォルダ	○	
6	圧縮形式	○	1:圧縮しない、2:圧縮(ZIP 形式)
7	起動時間		書式(yyyyMMddHHmmss) 未設定の場合、システム日時

例) 以下の条件で起動する場合

#### ①XML 作成の場合

- ・ 機能ID:保健指導(BH0010102)
- ・ 任意文字列(※1):健保1
- ・ 変換パラメータ:無(※2)
- ・ CSV 格納フォルダ:C:\input\csv
- ・ XML 出力フォルダ:C:\output\xml
- ・ 圧縮形式:圧縮しない(1)
- ・ 起動時間:20080306180030

C:\CIS\Health Converter >boot.exe "BH0010102" "健保1" "" "C:\input\csv" "C:\output\xml" "1" "20080319180030"

— CSV チェックの形式 —

順序	引数名	必須	内容
1	機能ID	○	BH0010103(固定)
2	任意文字列	○	(※1 参照)
3	変換パラメータ		(※2 参照)
4	CSV 格納フォルダ	○	
5	XML 出力フォルダ		設定不要
6	圧縮形式		設定不要
7	起動時間		書式(yyyyMMddHHmmss) 未設定の場合、システム日時

例) 以下の条件で起動する場合

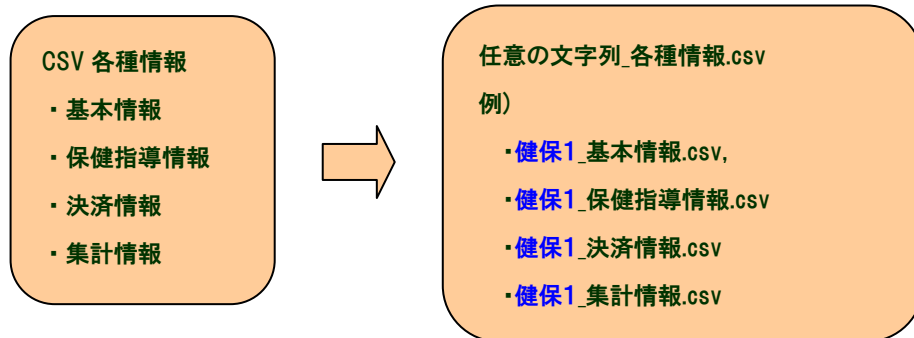
②CSV チェックの場合(※3)

- ・ 機能 ID:保健指導(BH0010103)
- ・ 任意文字列(※1):健保1
- ・ 変換パラメータ:無(※2)
- ・ CSV 格納フォルダ:C:¥input¥csv
- ・ XML 出力フォルダ:""
- ・ 圧縮形式:""
- ・ 起動時間:""

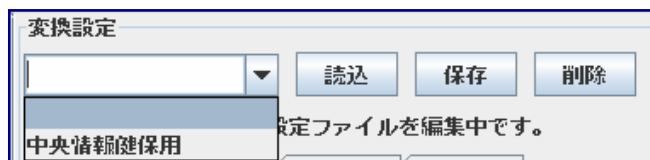
```
C:¥CIS¥Health Converter >boot.exe "BH0010103" "健保1" "" "C:¥input¥csv" "" "" ""
```

## Style for ME(XML 変換)

※1. 任意文字列は、送付先毎に各種情報の前に分かりやすい名前を指定してください。



※2. 変換パラメータを指定する場合は、変換設定で作成した設定名を指定してください。指定がない場合は Default 設定を使用します。



```
C:\CIS\Health Converter >boot.exe "BH0010102" "健保1" "中央情報健保用" "C:\input\%csv" "C:\output\%xml" "1" ""
```

※3. CSV ファイルのデータ値に誤りがある場合、エラーになります。

必ず CSV チェックを行い、データ値に誤りの無い CSV ファイルで、XML の作成を行なってください。

## (2)処理結果の取得方法

### ①戻り値の取得

・(表1. 戻り値) 参照

### ②結果ログによる取得

・結果ログ((インストール)フォルダ¥CIS¥log¥boot.log)が、起動するたびに出力されます。

※このログは、上書きされます。1回の起動した結果のみ保存します。

・ログの内容

[①][②][③][④] - メッセージ - [作成日 作成時間]

① 起動時間(yyyyMMddHHmmss) (パラメータの7番目(起動時間)を設定(未設定の場合、システム日時を設定))

② 機能 ID(パラメータの1番目を設定)

③ 任意文字列(パラメータの2番目を設定)

④ 結果コード(表 2. 結果コード)

※結果を出力します。詳細については、(表 2. 結果コード)の「詳細ログの出力先」のログの内容を確認してください。

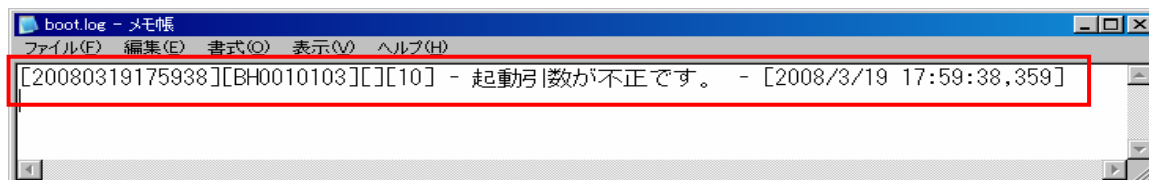


表1. 戻り値

コード値	内容
0	正常終了
1	異常終了

表2. 結果コード

コード値	内容	戻り値(表1.)	詳細	詳細ログの出力先 (ログフォルダは、(※1)を参照)
00	正常終了	0	正常終了	
10	引数エラー	1	引数が不正のため、処理を継続することが不可能な場合に通知	converter.log
11	XML 変換エラー	1	XML 変換に関わるエラーが発生し、処理を継続することが不可能な場合に通知	converter.log
12	使用制限エラー	1	使用制限されている場合に通知	converter.log
20	CSV 検証エラー	1	CSV 検証エラーがあった場合に通知	csv.log
30	XSD 検証エラー	1	XSD 検証エラーがあった場合に通知	xsd.log
90	予期せぬエラー	1	予期せぬエラーが発生し、処理を継続することが不可能な場合に通知	converter.log

※1.ログフォルダ「(インストール)フォルダ¥CIS¥log」

## (3) サンプルソース

### 例1) VB

①非同期で実行する場合(当アプリケーションの終了を待つ必要がない場合)のサンプルです。

```
Dim process As String
Dim param As String
' アプリケーション名
process = "C:\%CIS%\HealthConverter\boot.exe"
' 引数
param = _
    " "BH0010102"" _
& " "サンプル1"" _
& " """" _
& " "C:\%CIS%\HealthConverter\サンプルデータ¥1. 初回報告¥CSV"" _
& " "C:\%CIS%\HealthConverter\サンプルデータ¥1. 初回報告¥xml"" _
& " """" _
& " """" _

Dim pid As Long
Dim ph As Long
' EXE 起動
pid = Shell(process & param)
```

②同期で実行する場合(当アプリケーションの終了を待つ場合)のサンプルソースです。

①非同期で実行する場合の後に以下の追記する。

※ win32APIを組み込む必要があります。

```
' 待機させる場合は、以下のように記述する。
' Win32 API の関数(OpenProcess, WaitForSingleObject)を組み込む必要がある。
ph = OpenProcess(SYNCHRONIZE Or PROCESS_QUERY_INFORMATION, True, pid)
WaitForSingleObject ph, 1000000 ' exe が終了するまで待つ
GetExitCodeProcess ph, ecode ' 戻り値を取得
CloseHandle ph ' プロセスハンドルを閉じる
```

### 例2) java

①非同期で実行する場合(当アプリケーションの終了を待つ必要がない場合)のサンプルです。

```
List<String> command = new ArrayList<String>(8);
// 他アプリケーション起動用 EXE
command.add("C:¥¥CIS¥¥HealthConverter¥¥boot.exe");
// 起動引数
command.add("BH0010103");
command.add("サンプル1");
command.add(" ");
command.add("C:¥¥CIS¥¥HealthConverter¥¥サンプルデータ¥¥1. 初回報告¥¥CSV");
command.add(" ");
command.add(" ");
command.add("20080319180300");

// プロセスの生成
ProcessBuilder pb = new ProcessBuilder(command);
Process process = null;
try {
    // プロセスの実行
    process = pb.start();
} catch (IOException e) {
    e.printStackTrace();
}
```

②同期で実行する場合(当アプリケーションの終了を待つ場合)のサンプルソースです。

①非同期で実行する場合の後に以下の追記する。

```
// 非同期で実行する場合は、ここから以下の記述は不要
// 同期で実行する場合は、標準出力された内容の読み取りが必要

// 標準出力された内容の非同期で読み取り
final BufferedReader stdReader = new BufferedReader(
    new InputStreamReader(process.getInputStream())
);
Thread stdOutThread = new Thread(new Runnable() {
    public void run() {
        String line;
        try {
            while ((line = stdReader.readLine()) != null) {
                System.out.println(line);
            }
        } catch (IOException e) {
            e.printStackTrace();
        } finally{
            try {
                stdReader.close();
            } catch (IOException e) {
                e.printStackTrace();
            }
        }
    }
});
stdOutThread.start();

// 標準エラー出力された内容の非同期で読み取り
final BufferedReader errReader = new BufferedReader(
    new InputStreamReader(process.getErrorStream())
);
Thread stdErrThread = new Thread(new Runnable() {
    public void run() {
        String line;
        try {
            while ((line = errReader.readLine()) != null) {
                System.err.println(line);
            }
        } catch (IOException e) {
            e.printStackTrace();
        } finally{
            try {
                errReader.close();
            } catch (IOException e) {
                e.printStackTrace();
            }
        }
    }
});
stdErrThread.start();

try {
    // 待機
    process.waitFor();
    // 戻り値を取得
    int exitValue = process.exitValue();
    System.out.println("exitValue: " + exitValue);
} catch (InterruptedException e) {
    // waitFor() で例外が発生
    e.printStackTrace();
}
}
```



7. CSVチェック:エラーログ

(1)ログ内容

[作成日 作成時間][ERROR] - ① 値=② (行:③、ファイル:④)

- ① エラー内容
- ② エラーが出ている入力値
- ③ エラーが出ている値がある行
- ④ エラーが出ている値の CSV ファイル名(作成した CSV データと設定ファイルからデフォルト値を読み込んだもの)

・作成日時から今回のログを見つけ、エラー内容を確認してください。  
 ・値、行、ファイル名が示してありますので、参考にしてください。

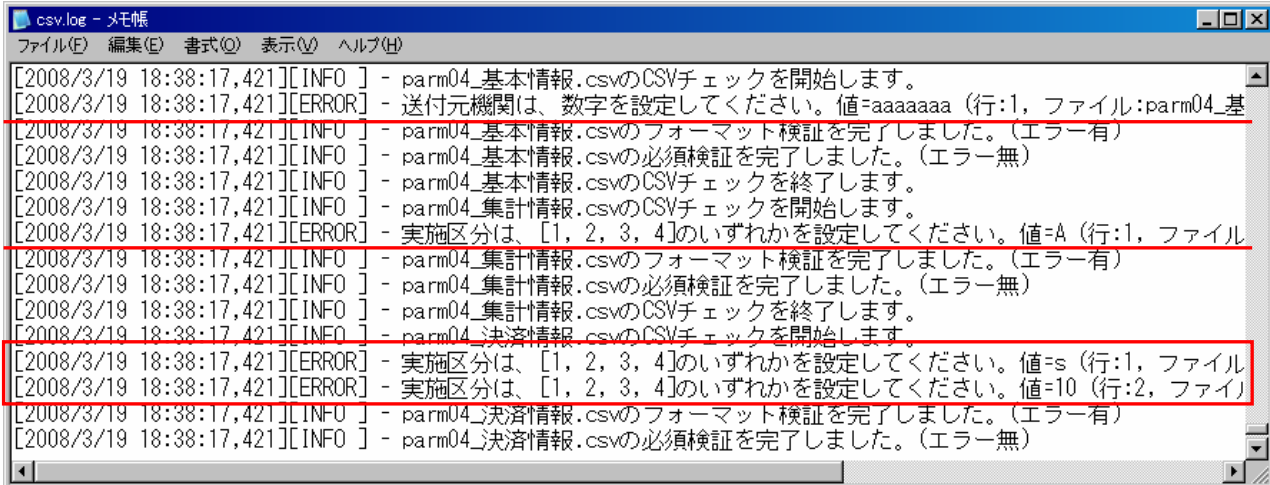
※XML 作成画面で設定ファイルを使用した場合、エラーログのファイル名は全て CSV ファイル名になります。

(2)チェックの種類

①フォーマットチェック

入力されているデータの項目ずつに対して、データ形式、モード、桁数等の書式チェックを行いません。

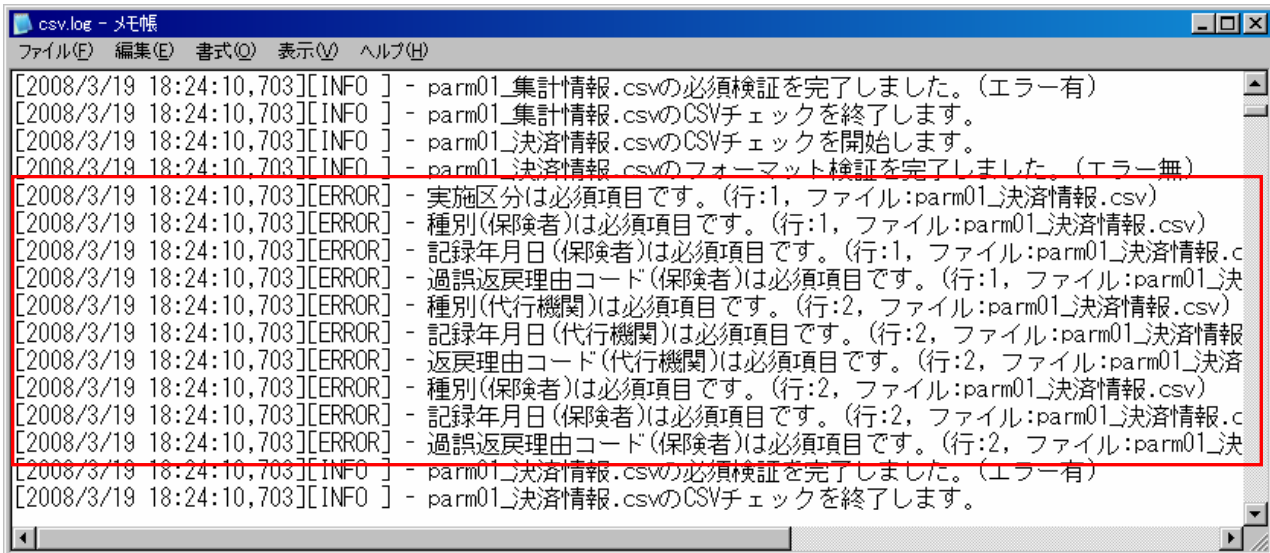
※XML 作成画面、設定画面の両方で必ず行なわれます。



②必須チェック

全てのフィールドに対して、必須項目(ファイル仕様書の○印)に入力が無い場合チェックを行いません。

※設定画面では必須チェックエラーは行なわれません。



### ③整合性チェック

条件によって、値が変化するものに対してチェックを行いません。

※フォーマットエラー、必須チェックエラーが全て正常の場合のみ、整合性チェックが行なわれます。

※設定画面では整合性エラーは行なわれません。

```
csv.log - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
[2008/3/19 18:46:35,390][INFO ] - parm04_基本情報.csvのフォーマット検証を完了しました。(エラー無)
[2008/3/19 18:46:35,390][INFO ] - parm04_基本情報.csvの必須検証を完了しました。(エラー無)
[2008/3/19 18:46:35,390][ERROR] - 送付元機関は、10文字で設定してください。値=121212 (行:1, ファイル:parm04_基本情報.csv)
[2008/3/19 18:46:35,390][ERROR] - 送付先機関は、8文字で設定してください。値=500 (行:1, ファイル:parm04_集計情報.csv)
[2008/3/19 18:46:35,390][INFO ] - parm04_基本情報.csvの整合性検証を完了しました。(エラー有)
[2008/3/19 18:46:35,390][INFO ] - parm04_基本情報.csvのCSVチェックを終了します。
[2008/3/19 18:46:35,390][INFO ] - parm04_集計情報.csvのCSVチェックを開始します。
[2008/3/19 18:46:35,390][INFO ] - parm04_集計情報.csvのフォーマット検証を完了しました。(エラー無)
[2008/3/19 18:46:35,390][INFO ] - parm04_集計情報.csvの必須検証を完了しました。(エラー無)
[2008/3/19 18:46:35,390][INFO ] - parm04_集計情報.csvの整合性検証を完了しました。(エラー無)
[2008/3/19 18:46:35,390][INFO ] - parm04_集計情報.csvのCSVチェックを終了します。
[2008/3/19 18:46:35,390][INFO ] - parm04_決済情報.csvのCSVチェックを開始します。
[2008/3/19 18:46:35,390][INFO ] - parm04_決済情報.csvのフォーマット検証を完了しました。(エラー無)
```

## 8. 正規版、デモ版について

### (1) デモ版について

インストール後、30日間、使用できます。

決済情報の受診者情報と、保健指導情報の受診者情報が固定で設定されています。

#### ・決済情報

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
- <healthGuidanceClaim xmlns="http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007 ./XSD/gc08_V08.xsd">
- <encounter>
  <serviceEventType code="3" />
  <guidanceLevel code="1" />
  <guidanceTiming code="2" />
- </encounter>
- <subjectPerson>
- <performerOrganization>
  <id extension="0123456789" root="1.2.392.200119.6.102" />
- </performerOrganization>
- <insuranceCard>
  <insurerNumber extension="01234567" root="1.2.392.200119.6.101" />
  <symbol extension="****被保険者証等記号****" root="1.2.392.200119.6.204" />
  <number extension="****被保険者証等番号****" root="1.2.392.200119.6.205" />
- </insuranceCard>
  <name>カンサンタロウ</name>
  <addr>
  <postalCode>012-3456</postalCode>
  </addr>
  <birthTime value="19800401" />
  <administrativeGender code="1" />
- </subjectPerson>
- <healthGuidanceCard>
  <id extension="11223344551" root="1.2.392.200119.6.210" />
  <checkupCardId extension="12345678901" root="1.2.392.200119.6.209" />
  <effectiveTime>
  <high value="20080331" />
  </effectiveTime>
  
```

#### ・保健指導情報

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
- <ClinicalDocument xmlns="urn:hl7-org:v3" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../xsd/hg08_V08.xsd">
  <typeId extension="POCD_HD000040" root="2.16.840.1.113883.1.3" />
  <id nullFlavor="NI" />
  <code code="22" codeSystem="1.2.392.200119.6.1001" />
  <effectiveTime value="20070701" />
  <confidentialityCode code="N" />
- <recordTarget>
- <patientRole>
  <id extension="****PatientRoleId1****" root="1.2.392.200119.6.202" />
  <id extension="****PatientRoleId2****" root="1.2.392.200119.6.202" />
  <id extension="01234567" root="1.2.392.200119.6.101" />
  <id extension="****被保険者証等記号****" root="1.2.392.200119.6.204" />
  <id extension="****被保険者証等番号****" root="1.2.392.200119.6.205" />
  <addr>
  <postalCode>012-3456</postalCode>
  </addr>
  <patient>
  <name>カンサンタロウ</name>
  <administrativeGenderCode code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.1104" />
  <birthTime value="15600101" />
  </patient>
- </patientRole>
- </recordTarget>
- <author>
  <time value="20070701" />
  <assignedAuthor>
  <id nullFlavor="NI" />
  <representedOrganization>
  <id extension="12345678901" root="1.2.392.200119.6.102" />
  
```

### (2)正規版について

初回起動時に、シリアルIDを登録する必要があります。

